

選考結果総括表

府省庁名 経済産業省

役職		現任者				就任者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	理事 (研究評価、情報システム、検査・業務管理、資産管理担当)	上原 明	61	H19.11.1	住友電気工業株式会社貿易管理室長兼研究開発本部技師長 [OB] ※最終官職 通商産業省大臣官房調査統計部管理課調査統計企画室長	鈴木 富雄	61	株式会社神鋼環境ソリューション技監	応募総数 70 名 ↓ 書類選考 ↓(5名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選任 ↓ 所管大臣に協議

※ 公務員OB該当者は、現任者及び就任者の「現(前)職」欄に[OB]と記載。

選考結果総括表

府省庁名 経済産業省

役職	現任者				就任者			選考経過	
	氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職		
(独)原子力安全基盤機構	理事 (検査、安全 解析、安全 研究担当)	熊澤 昭雄	64	H18.7.1	(財)中国電気保安協会 専務理事 [OB] ※最終官職 中国通商産業局公 益事業部長	佐藤 均	59	(独)原子力安全基盤 機構 検査業務部長 [OB] ※最終官職 原子力安全・保安 院審議官(原子力 安全基盤担当)	応募総数 24 名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選任 ↓ 所管大臣に協議
	監事	高橋 秀樹	60	H18.2.3	人事院国家公務員倫 理審査会事務局長 [OB]	再 任		応募総数 25 名 ↓ 書類選考 ↓(4名) 面接 ↓(2名) 任命権者が選任	

※ 公務員OB該当者は、現任者及び就任者の「現(前)職」欄に[OB]と記載。

選考結果総括表

府省庁名 経済産業省

役職	現任者				就任者			選考経過
	氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)情報処理 推進機構	理事 (技術担当)	仲田 雄作	52	H20.7.25	経済産業省 経済産業政策局 調査統計部長 [OB]	再 任		応募総数 49 名 ↓ 書類選考 ↓(5名) 面接 ↓(2名) 任命権者が選任 ↓ 所管大臣に協議
	監事	小川 忠夫	64	H20.7.17	(財)オートレース振興 協会 理事長 [OB] ※最終官職 国土庁長官官房審 議官(地方振興局担 当)	下村 健一	59	オムロンレーザーフ ロント株式会社 執行役員兼品質環境 本部長

※ 公務員OB該当者は、現任者及び就任者の「現(前)職」欄に[OB]と記載。

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構役員名簿新旧対照表

現任者							就任者			任命権者	発令日
役職	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	村田 成二	65	19.10.1	4	23.9.30	経済産業事務次官 日本生命保険相互会社特別顧問					
副理事長	福水 健文	57	21.8.17 (20.7.25)	4	23.9.30	中小企業庁長官 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構理事					
理事	上原 明 H21.12.31退任	61	19.11.1	2	23.9.30	通商産業省大臣官房調査統計部管理課調査統計企画室長 住友電気工業株式会社貿易管理室長兼研究開発本部技師長	鈴木 富雄	61	株式会社神鋼環境ソリューション技監	理事長	H22.1.1
理事	和坂 貞雄	59	19.10.1	2	23.9.30	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構環境技術開発部長					
理事	植田 文雄	59	21.8.17	2	23.9.30	トヨタ自動車株式会社車両材料技術部バイオマス技術開発室SSE					
理事	小井沢 和明	55	19.7.10	2	23.9.30	関東経済産業局資源エネルギー部長 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構参事 【役員出向】					
理事	古谷 毅	51	20.7.12	2	23.9.30	文部科学省大臣官房審議官(研究開発局担当) 【役員出向】					
監事	徳本 恒徳	63	21.9.1	2	23.9.30	東京ガス株式会社常勤監査役					
監事 (非常勤)	渡辺 通春	59	21.9.1	2	23.9.30	株式会社東芝顧問 株式会社東芝機械監査役(非常勤)					

(独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
理事 (研究評価、情報システム、検査・業務管理、資産管理担当) 選任理由

1. 法人のミッション

産業技術に関する研究開発プロジェクトの推進、エネルギー・環境関連技術の開発とその導入促進、京都メカニズムクレジット取得等の事業を行い、産業競争力の強化、エネルギー・地球環境問題の解決に貢献する。

2. 公募ポスト

研究評価等担当理事は、本法人の行う事業に関するプロジェクト評価と研究成果の実用化を産業界に働きかけるとともに、万全なセキュリティを確保した情報システムの構築を行う責任者であり、約180名の職員を率いる。このため、研究開発や研究開発マネジメントに関する専門的知識や情報システムに関する幅広い知識が求められる。

3. 選考プロセス

外部有識者による選考委員会は、トータルで8日間にわたり、70名の応募者の書類審査を行った上で、書類審査を通過した5名に対する約3時間の面接審査を行い、全会一致で適任者1名を選考した。任命権者である理事長は、別途個別に面談を行うとともに、選考委員から選考の経過及び結果について詳しく聴取した。その後、経済産業大臣との協議を経た上で、鈴木富雄氏を選任した。

4. 任命理由

鈴木氏は、鉄鋼メーカーにおいて、研究開発から商品化まで現場に立脚した経験を有し、研究者、研究開発マネジメント双方の経験があり、実績も上げている。エネルギー・環境問題に対する知見も優れており、国際的な視野も有している。以上から、他の候補者に比べ、バランスの取れた専門性を有すると認められる。

また、面接を通じ、質疑に対する受け答えに誠実さが感じられ、企業における役員の経験も有することから、組織を率いるリーダーシップの発揮が期待できる。

さらに、産業競争力強化について明確な問題意識を持ち、本法人の役割について十分に考えていることが伺える。

同氏は、明快な考え方をもち、優れた判断力を有しており、人格、見識も優れていることから、本法人の研究評価等担当理事としての職責を果たす十分な潜在力を有している。

独立行政法人情報処理推進機構役員名簿新旧対照表

現 任 者							就任者			任命権者	発令日
役 職	氏 名	年齢	当初就任 年月日	任期	任期満了 年月日	前 歴	氏 名	年齢	前 歴		
理事長	西垣 浩司	71	H20.4.1	4	H24.1.4	日本電気株式会社 特別顧問					
理 事	斉藤 茂樹	58	H20.4.1	2	H22.3.31	特許庁審査業務部長 (財)国際超電導産業技 術研究センター専務理 事					
公募 理 事	仲田 雄作	52	H20.7.25	2	H22.1.4	経済産業省 経済産業政策局 調査統計部長	再 任			理事長	H22.1.5
公募 監 事	小川 忠夫 H22.1.4退任	64	H20.7.17	2	H22.1.4	国土庁長官官房審議 官(地方振興局担当) (財)オートレース振興 協会 理事長	下村 健一	59	オムロンレーザーフロ ント株式会社執行役 員兼品質環境本部長	経済産業大臣	H22.1.5
監 事 (非常勤)	櫻井 通晴	72	H16.1.5	2	H22.1.4	城西国際大学経営学 部客員教授	再 任			経済産業大臣	H22.1.5

(独) 情報処理推進機構 (I P A)

理事 (技術担当) 選任理由

1. 法人のミッション

産学官の密接な連携を促し、情報セキュリティ対策や、電力・鉄道等社会インフラに関するソフトウェアの安全性・信頼性向上対策等を行う。

2. 公募ポスト

技術担当理事は、本法人の中核業務である情報セキュリティ対策の責任者であり、140名余りの職員を率いる。また、国際的な協力体制の構築やセキュリティ評価の国際標準策定に向けた海外機関との交渉・連携を行うことも重要な業務である。

3. 選考プロセス

外部有識者による選考委員会は、トータル7日間にわたり、49名の応募者の書類審査を行った上で、書類審査を通過した5人に対する約3時間の面接審査を行った。任命権者である理事長は、別途これら5人に対し、個別に面談を行うとともに、選考委員から選考の経過及び結果について詳しく聴取した。その後、経済産業大臣との2度に亘る協議を経た上で、仲田雄作氏を選任した。

4. 任命理由

仲田氏は、IT技術に関するより広範かつ深い専門知識を有している。他の4人の候補の潜在能力を評価したとしても、同氏の専門的知識・経験は格段に優れている。

また、技術担当理事に必要とされる国際交渉能力については、他の候補者と比較して特に優れており、本法人が中核業務として推進している標準化等における欧米海外諸機関との協力・交渉において、太く良好な人的関係を活用し、理事長の右腕として同法人にとって不可欠な存在となっている。

同氏は、複数の機関において、CIO又はそれに準ずる役割を果たし、かつ、職員数100名以上の大きな組織を率いた経験と実績があり、面接においては、同法人の業務見直し、新規業務立ち上げについて明確なビジョンを述べるなど、今後適切なリーダーシップの発揮が十分に期待できる。

このように、同氏は、民間出身理事長を支える「官民の架け橋」(理事長の言葉)としての機能を果たしており、こうした機能を担うことのできる者は、他の候補者についてその潜在力を評価したとしても、同氏以外に見あたらない。

(独) 情報処理推進機構 (I P A)

監事選任理由

1. 法人のミッション

産学官の密接な連携を促し、情報セキュリティ対策や、電力・鉄道等社会インフラに関するソフトウェアの安全性・信頼性向上対策等を行う。

2. 公募ポスト

監事は、本法人の行う業務が法令に適合したものになっているか、財務諸表及び決算報告書等が適切なものとなっているかについて監査を行い、その結果に基づき、理事長又は主務大臣に意見書を提出する責任を有する。このため、その重責に耐え、理事長と対等に渡り合えるだけの確固たる意志と人格、専門家集団である各部門に対し睨みをきかせるだけの専門性やその素養、本法人の改革についての強い思いなどが求められる。

3. 選考プロセス

外部有識者による選考委員会は、トータル6日間にわたり、44名の応募者の書類審査を行った上で、書類審査を通過した5人に対する約2時間半の面接審査を行い、適任者2名を選考した。

任命権者である経済産業大臣は、選考委員長から選考の経過及び結果について詳しく聴取の上、適任者2名のうち、選考委員5人中最多の4人が適任と判断した下村健一氏を選任した。

4. 任命理由

下村氏は、電機メーカーに技術者として入社し、同社の品質管理部長などを経て、子会社の執行役員及び常勤監査役を勤めた経験を有する。

また、新会社設立に当たり、監査体制を作り上げるなど、監査の実務に携わった経験が他の候補者と比較しても豊富であるとともに、IT技術者としての専門的知識を有する。

面接においては、監事の独立性について確固とした信念を語っており、こうした信念が伺えたのは面接者の中で同氏のみ。監事として中立的な立場を貫けるものと伺える。

また、独法の組織がその事業目的をより有効かつ効率的に達成するための組織改革に結びつく改善提案を自らのミッションと捉えており、リーダーシップも期待できる。

独立行政法人原子力安全基盤機構 役員名簿新旧対照表

現任者							就任者			任命権者	発令日
役職	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	曾我部捷洋	67	H21.4.1	4	H23.9.30	通商産業省通商産業 検査所長 (独)原子力安全基盤機 構 理事					
理事	中込 良廣	65	H21.4.1	2	H23.9.30	京都大学 名誉教授					
理事	稲垣 史則	49	H21.8.1	2	H23.9.30	経済産業省大臣官房 政策評価広報課長 【役員出向】					
理事	熊澤 昭雄 H21.12.31退 任	64	H18.7.1	2	H23.9.30	中国通商産業局公益 事業部長 (財)中国電気保安協 会専務理事	佐藤 均	59	原子力安全・保安院審 議官(原子力安全基盤 担当) (独)原子力安全基盤 機構検査業務部長	理事長	H22.1.1
監事	高橋 秀樹	60	H18.2.3	2	H23.9.30	人事院国家公務員倫 理審査会事務局長	再 任			経済産業 大臣	
監事	古澤 彰	60	H21.10.1	2	H23.9.30	株式会社ジャルウェイｽ 非 常勤顧問					

(独) 原子力安全基盤機構 (JNES)
理事 (検査、安全解析、安全研究担当) 選任理由

1. 法人のミッション

原子力安全・保安院と連携し、全国50ヶ所以上の原子力発電所及び核燃料サイクル施設等の検査や安全性評価等を的確に遂行する。

2. 公募ポスト

検査等担当理事は、本法人の中核業務である原子力施設に対する安全審査の責任者であり、約280人の職員を率いる。このため、国民の安全を託すに足りるだけの原子力に関する技術的・法律的な知見、国民の信頼を得るために必要な被規制者等との関係における高い倫理観及び中立性等が求められる。

3. 選考プロセス

外部有識者による選考委員会は、トータルで8日間にわたり、24名の応募者の書類審査を行った上で、書類審査を通過した3名に対する約3時間の面接審査を行い、全会一致で適任者1名を選考した。任命権者である理事長は、別途これら3名に対し、個別に面談を行うとともに、選考委員長から選考の経過及び結果について詳しく聴取した。その後、経済産業大臣との協議を経た上で、選考委員会が全会一致で唯一の適任者として選考した佐藤均氏を選任した。

4. 任命理由

佐藤氏は、旧通商産業省に入省後、約30年間一貫して国の原子力安全行政に携わり、我が国初の改良型原子炉をはじめ数多くの原子力施設の安全審査・検査を経験し、ある意味で「原子力安全行政の宝」(理事長の言葉)とも言うべき人材である。また、過去の原子力事故において、対策本部で中心的役割を果たすなど安全対策にも精通し、このような高い専門性を有した候補者は、他に皆無であった。

同氏は、現在、本法人において、検査業務部長として約100人の職員を指揮し、リーダーシップを発揮している。

また、面接においては、今後の本法人の役割について、単に国の安全規制の技術的支援のみではなく、事業者、地元住民との意思疎通を強化していくべきとの主張を行うなど、具体的かつ明確な将来ビジョンを有している。

同氏は、一般職の技官として入省後、検査実務を通じて専門性を高め、原子力安全・保安院で審議官まで務めた経歴を有する検査業務の第一人者であり、こうした専門性・能力のある者を実力本位で重要なポストに就けることは、職員のモチベーションを高める効果も期待できる。

(独) 原子力安全基盤機構 (JNES)

監事選任理由

1. 法人のミッション

原子力安全・保安院と連携し、全国50ヶ所以上の原子力発電所及び核燃料サイクル施設等の検査や安全性評価等を的確に遂行する。

2. 公募ポスト

監事は、同法人が実施する業務についての法令遵守状況や、随意契約を含む経理・契約の適正性について常にチェックを行い、理事長又は経済産業大臣に監事名で意見を提出する責任を有する。このため、国民の安全を託するに足る専門的な知識又はそれを得ようという意欲、国民の信頼を得るための高いレベルでの中立性・公平性、原子力安全に対する強い思いを有することが求められる。

3. 選考プロセス

外部有識者による選考委員会は、トータル7日間にわたり、25名の応募者の書類審査を行った上で、書類審査を通過した4人に対する約3時間にわたる面接審査を行い、適任者として2名を選考した。

任命権者である経済産業大臣は、選考委員長から選考の経過及び結果について詳しく聴取を行い、適任者2名のうち唯一、選考委員全員が適任と判断した高橋秀樹氏を選任した。

4. 任命理由

高橋氏は、国家公務員倫理審査会事務局長を務めるなど高い倫理観を持ち、不適正であると判断した事象に関しては、周囲の反対に抗して必要な資料を求め、不適正を指摘し、是正措置を求めるといった実績を有している。

また、監事の機能として「国民の目線」が重要であると言明するなど、監事の職務についての明確な意識を有している。面接においても、随意契約の適正化について外部有識者の参加による審査体制の強化が必要といった具体的な指摘を行うなど、機構の抱える問題点と改善策についてのビジョンを持っており、現職の監事として真摯に業務に取り組んできたことが認められる。

選考プロセスを通じて、国民の信頼を確保しながら安全を守るという原子力行政についての使命感や、同法人を改革していくという強い思いが伺えた候補者は同氏のみであり、国民の安全を託す本法人の監事として十分な安心感がある。

選考委員会の属性について

【経済産業省】

○独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構理事

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

大学教授	2名
ジャーナリスト	1名
会社役員	2名
<hr/>	
計	5名

○独立行政法人情報処理推進機構監事

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

ジャーナリスト	1名
弁護士	1名
公認会計士	1名
会社役員	2名
<hr/>	
計	5名

○独立行政法人情報処理推進機構理事

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

大学教授	2名
ジャーナリスト	1名
会社役員	2名
<hr/>	
計	5名

○独立行政法人原子力安全基盤機構監事

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

大学教授	2名
弁護士	1名
会社役員	1名
団体役員	1名

計	5名
---	----

○独立行政法人原子力安全基盤機構理事

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

大学教授	2名
会社役員	2名
団体役員	1名

計	5名
---	----